

# 琉球の美

—首里城を感じる“ホンモノのモノ”—



## 沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室

首里城復興祭関連イベント

令和4年  
(2022年)

11/4  
金

14:00~15:30  
(開場30分前)

11/5  
土

① 13:00~14:30  
② 16:00~17:30  
(開場各回30分前)

11/6  
日

③ 13:00~14:30  
④ 16:00~17:30  
(開場各回30分前)

プレス DAY (マスコミ・関係者様限定)

①③④一般販売 / ②貸切 (みらいおきなわプレゼント)

ご予約 / お問い合わせ

料金 5,000円 (税込)

※復帰50年展「琉球 -美とその背景-」一般 観覧チケット込み

主催：一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室 共催：一般財団法人沖縄美ら島財団

協賛：株式会社おきなわフィナンシャルグループ / 株式会社みらいおきなわ

後援：沖縄県・那覇市・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー・一般社団法人那覇市観光協会  
一般社団法人琉球びんがた普及伝承コンソーシアム・一般社団法人琉球料理保存協会

※新型コロナウイルスの感染状況により日程が変更となる場合がございますので、右のQRコードより最新の日程をご確認ください。





# 『琉球の美』—首里城を感じる“ホンモノのモノ”—とは

一般社団法人  
琉球伝統芸能デザイン研究室  
Webサイト



一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室は、令和3年11月～12月の期間（全5回）首里城公園内レストセンター首里杜館ビジターロビーにて『琉球の美』—首里城で感じるホンモノのモノ—を企画・実施しました。琉球王国時代、文化芸術は諸外国との交易ツールとして盛んに用いられたといわれ、その時代に構築された文化芸術はまさに「美」そのものであり、世界に誇れる文化遺産だと考えます。

それらを現代に置き換え「祈りの美」「味わう美」「感じる美」として、世界遺産「園比屋武御嶽石門」での祈り体験、琉球菓子を解説と共に味わい琉球史・琉球びんがたの解説を聞いたあとのクライマックスとして、琉球古典音楽1名と琉球古典舞踊1名による琉球古典音楽と琉球古典舞踊女踊を鑑賞していただきました。

今後は2026年の首里城正殿完成を視野に入れ『琉球の美』—首里城を感じるホンモノのモノ—と名称を変更して、毎年首里城とゆかりのある様々な空間にて実施することとし、本年度は沖縄県立博物館・美術館にて開催させていただきます。この展開は、本室の理念である「琉球伝統芸能の新しいカタチとデザイン」を主軸とした琉球古典音楽1名×琉球古典舞踊1名によるパフォーマンス（2020年度グッドデザイン賞受賞）の鑑賞により「首里城復興祈願と完成したその先に問われるもの」を考察していくことです。

そして2026年は再び『琉球の美』—首里城で感じるホンモノのモノ—として、首里城正殿前にての実施を目指します。

ホンモノを鑑賞

—首里城を感じる“ホンモノのモノ”のモノ—



現在は、劇場等での琉球伝統芸能の上演が主流となっていますが、琉球王国時代は、首里城を中心とした様々な空間において、首里城から畳を搬入することも含め、その場限りの舞台空間を設置していたといわれています。今回は、当時の空間再現を意識し、現在では貴重となった「琉球ビーグ（い草）」による舞台空間を創出します。踊り演者の摺り足の音や三線演奏の弱音が聞こえるなど、小空間における近距離ならではの特別な鑑賞をお楽しみください。

ホンモノを学ぶ



ホンモノを知る

復帰50年展

# 琉球

—美とその背景—

令和4年（2022）  
12月14日（金）  
10月4日（日）

沖縄県立博物館・美術館  
令和4年度博物館企画展  
博物館企画展示室、特別展示室1・2

- 【琉球王国時代に構築された日本遺産の解説】《琉球歴史研究家 上里隆史》  
—沖縄で最初に日本遺産に認定された琉球料理／泡盛／芸能の解説  
・内閣府地域活性化伝道師・NHK「プラタモリ」の案内人・著書多数
- 【琉球伝統芸能の位置づけ／楽曲内容等の解説】《歌三線奏者 山内昌也》  
—当日上演する演目を中心に解説  
・国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（歌三線）保持者  
・沖縄県立芸術大学教授・琉球伝統芸能デザイン研究室代表理事

沖縄県立博物館・美術館 復帰50年展「琉球—美とその背景—」  
本土復帰から50年—。様々な施策や県民の努力により、沖縄は大きく成長を遂げ、今まさに新たな歴史を歩んでいます。小さな島の集まりであるこの地域は、古くから海を通じて様々な国と交流し、琉球王国として独自の文化を発展させてきました。本展では、栄華の象徴ともいべき美の世界から私たちのアイデンティティである「琉球」に焦点をあて、紡がれた歴史を紐解いていきます。復帰50年の節目だからこそ借用できた県内初公開の展示品も多数あります。 ※期間中有効な一般観覧チケットをお渡します